



日本損害保険協会岩手損保会と岩手県代協役員の懇談会を開催しました。

例年開催されている岩手損保会と岩手県代協の活動の相互理解を深め、共通の課題について意見交換を行う懇談会が7月19日（水）開催されました。今年では5回目であり、参加者紹介に始まり岩手損保会会長、岩手県代協会長のあいさつ、損保協会東北支部の新しい事務局長新井吾一氏から損保協会の活動の紹介があり、岩手県代協からも活動等が報告され、意見交換に入りました。

岩手県代協が意見交換の項目に挙げたのは別項の通り。「代協会員拡大」と「代理店賠償加入促進」、「社会貢献活動」の協力要請を行いました。大手損保に加えて朝日火災・セコム損保・共栄火災・日新火災・富士火災など総勢9社の参加と当会役員14名とで活気のある意見交換がされました。



【懇談会の模様】

【要請と意見交換】

- イ. 保険会社及び代理店の業法改正対応のその後の進行状況について。
- ロ. 代理店賠償責任保険の必要性と会員拡大について。
- ハ. 代理店の資質向上への取り組みについて「損害保険トータルプランナー」の受講推進。
- ニ. 岩手代協の社会貢献活動の取り組みについての紹介。

日時：平成29年7月19日（水）午後1時30～3時

会場：三井住友海上 岩手支店
（七十七日生盛岡ビル）7階会議室

参加者：岩手損保会 9名
損保協会東北支部 2名
岩手県代協役員 14名